



第1006号

2006年9月24日発行

日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18

編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987 Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

戦っている。こういうこの世的に厳し
いう極限状況の中で、信仰者として
フリカ諸国では伝染病や戦争や飢餓と
のキリシタンも同じだろう。今でもア
初代教会は葬儀もままならぬ時がある
ほどの迫害の中に置かれた。江戸時代
旧約の民イスラエルは、荒々しい土
地で様々な誘惑の中で激しく生きた。

「ありがたいです」、「お恵みで
す」は通俗的信仰の常用句のよ
うに私には見えるがどうだろ
う。『ありがたや教』にはならな
いのだろうか。日常の小さな幸
せ(まあまああまの生活、恵まれた
健康と長寿、優しい家族、他人
に差し出せる時間や金など)が
恵みということになると、いさ
さかプチブル的で、信仰と無縁
に手に入れることができるよう
にも見える。

—《恵みに生かされて》—

神が保証する恵み

司祭 木下量 熙

「祈る人」として造られた人
間が、恒久の生くべき規範とし
て神がお与えくださった律法
(十戒)によって自らを律し、再
臨の時まで行えと命じられた聖
餐によって天上の命を注がれて

生きることこそが、信仰者の何もの
も代えがたい恵みであり、たとえ他
ものは何一つなくても以って瞑すべし
なのである。

「主の祝福は人を富ませる。主はこれ
に何の悲しみも加えない」(箴言10・
22)。

(千住基督教会牧師)

◆9月の代禱・信施奉献先

▽わかちあい募金のため▽山谷
兄弟の家伝道所まりや食堂の働
きのため▽タイのHIV感染者
およびAIDS発症者支援のため
▽心臓病児保育活動のため

◆10月の代禱・信施奉献先

▽浅草聖ヨハネ教会日曜給食活
動のため▽教役者緊急援助資金
のため▽月島聖ルカ保育園のた
め▽こどものためのミニスト
リーの働きのため▽社会事業の
日(特定25)

◆聖信受領

9月3日 東京聖十字教会で
▽秋山直子▽田縁洋子(聖十
字)▽岩崎静子(聖愛)

◆とこしえの平安

8月17日 木暮 和枝 (68)

三光

8月20日 潮田 蘆彌 (92)

聖アンデレ

9月4日 川村美由紀 (51)

聖アンデレ

9月17日 後藤 正夫 (86)

小金井

9月17日 上部 國男 (86)
聖ジョージ
▽聖路加国際病院礼拝堂の恒
例「オルガンコンサート・夕
の祈り」が10月4日(水)18時
半、19時からそれぞれ行われる。
演奏は米山麻美。入場無料(会場
献金)。

今週・来週の予定

9月24日~10月7日

- 24(日) 聖霊降臨後第16主日
主教巡回
浅草聖ヨハネ教会
城南G教会協議会(三光)
下町G教会協議会
(聖ヨハネ)
- 26(火) 銀座朝祷会
- 29(金) 主教座聖堂活動委員会
- 10月
- 1(日) 聖霊降臨後第17主日
主教巡回
渋谷聖ミカエル教会
- 2(月) 幼稚園委員会
- 3(火) 教区企画室
- 5(木) 教役者待遇調査委員会
- 6(金) 下町G牧師協議会
(聖ルカ)

(この用紙は再生紙を使っています)

教区フェスティバル閉幕

「つくろう ひろげよう 和と〇(わ)」をテーマに行われた今年の教区フェスティバル。台風の進路にまで気を配りつつ直前まで準備が進められ、出店・出展も屋内の体育館を中心に配置された。

大人も子どももともに集う礼拝では、1千人を超える人々がともに感謝と賛美の祭りを祝った。説教に立たれた五十嵐正司主教(九州教区)は、身近な出来事を取りあげながら「人を思いやる『キリストの風』を受け、また起こす者として、キリストと共に人々を大切にして、よるこびをもつて集まり続けることができようように願っています」と奨励。

午後のイベントも各教会・団体の工夫、また子どものための

プログラムと盛り沢山。また目玉

となる映画「無名の人」(石井筆子紹介のドキュメンタリ)の会場にも多くの人が集まり、信仰者としての学びと励ましを加えられた。

すべてのプログラムは定刻、実行委員長による感謝の祈りと植田仁太郎教区主教の祝福の言葉をもって閉じられた。

*参加教約千百人(内子ども約百人)
*信施金約七十万円(当日分)
*献米約百五十キロ
*出店51店
*映画カンパ二十三万余円。

常置委員会報告(9月12日)

主な報告・協議事項から。
*内田研吾新財務主事の紹介。
*管区司祭試験実施中、主教会開催、聖職候補生志願者の面接実施等の主教報告。

*墓地礼拝を11月1・2日に。

*管区センター建物補修等応分の工事費負担、第一〇三(定期)教区会公示、非常勤職員採用更新。

5月以降の収支報告、第2四半期報告。正平協韓国スタディツアー、正平協・信生委合同会議、エ教区協働委、教区フェスティバル等の、各主事報告を了承。

*小笠原島民と取り交わす覚書に同意を得た。

*秋期教区会で日本聖公会第56定期総会の報告を行う。

*各教会のコンピュータ整備に当たる職員常駐の必要性につき、今後の方針等を協議した。
*聖職養成委員会から提出された「家族を持つ聖職候補生及び同志願者に対する支援の取扱い」内規の趣旨を了承、財政委員

会へ諮問する。

*その他

▽「障害者」関連活動連絡会主催による『ふれあいキャンプ』

【学びと働きから】²⁰

アメリカ聖公会の動き

去る六月に、三年に一度のアメリカ聖公会の総会が開催された。その総会で本年中に退職される総裁主教(首座主教)の後継に、初めて女性であるキャサリン・J・シヨール主教が選出された。シヨール主教はネバダ教区主教に二〇〇一年選任されたばかりである。元々海洋学者で、その後聖職として召命を受け、神学校へ進まれた。総裁主教の職は、言うまでもなくアメリカ聖公会を代弁する立場にあり、退職主教、補佐主教

が10月8日(日)〜9日(月・休)国立女性教育会館で開催される。障がい者を交えて共に過ごし、理解を深め合う2日間。参加費3千

を含めた主教会、ならびに総会の議長としての責任がある。主教会も百名以上の大世帯であり、大きなリーダーシップが期待される。そのような聖公会内の責任に加えて、アメリカ社会において、伝統的に、主要キリスト教教派全体の代表とみなされ、ホワイトハウスにもある程度影響力があるとされる。

シヨール主教は、「女性だから選任されたとする見方は誤りであろう。アメリカ聖公会は、男女の別を意識せず、有能で尊敬に値する人間をどんどん指導者とし

円(交通費・宿泊費・昼食代含む)。照会・申込みは牛込聖バルナバ教会気付事務局宛、電話03(3268)8067。

て選んでゆく。恐らく、彼女に対する一番の期待は、同性愛者の聖職や同性愛者同士の「婚姻」の祝福などに強く反発している、アジア・アフリカの聖公会との関係の修復や、世界的な聖公会の一致を回復してゆく上での、彼女のアプローチの仕方であろう。

因みに、今総会では、カンタベリー大主教の諮問委員会の勧告(ウィンザーレポート)に応じて、事実上、同性愛者の主教を選任することを当面「自粛する」という決議がなされた。

主教 植田仁太郎